

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	井田 政則	所属	立正大学 心理学部臨床心理学科
研究会等名称	生活行動心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数)</p> <p> 会員 14名 (うち認定心理士 2名)</p> <p> 非会員 5名 (うち認定心理士 0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p>2012年度に発足した「生活行動心理学研究会」は、今年度で10年が経過し、本研究会では、様々な心理学分野の研究知見が生活領域の中で、どのように生かされ、また今後どのような貢献がのぞまれているかについて、実証的研究の成果をもとに議論を重ねてきた。今年度もまたコロナウィルス禍の影響を受け、感染防止のため、かつ研究発表会の会場確保が難しく、その活動は講演会(オンライン)を中心に行わざるを得なかった。講演会では、社会心理学・理論心理学の研究者を招き、人間の適応について演者独自の人間論が展開され、さらに問題提起および議論がなされた。</p> <p>主たる研究会活動として、ゲストスピーカーによる講演会を開催した。</p> <p>第29回研究会 (外部講師招聘) 講演会 日時：2021年9月12日(日) 14:00-16:00 オンラインによる講演会 講演者：立正大学名誉教授 井上隆二 演題：『悟り』をヒントに『適応』を考える オンデマンド配信：9月13日～9月25日 ※9月26日(日)に講演で出された課題について質疑応答(オンライン)を行った。</p> <p>また、本研究会代表者が開催に関わった次の講演会に会員の参加を呼び掛け、高齢者心理学・交通心理学を研究している会員が参加した。</p> <p>講座名：臨床心理士のための地域を知る教養講座 I・ZOOM 講演 講演テーマ：交通とシニア「高齢ドライバー交通問題の現状と課題」 講演者：所 正文 氏 日時：2022年2月27日(日) 13:00-15:30 ※ 講演後、オンラインにより参加会員同士で意見交換を行った。</p> <p>なお、本年度も研究会の分科会・「高齢者心理」および「尺度作成」のメンバーがオンラインによって勉強会(年・5回程度)を開催したとの報告があった。</p> <p>COVID-19の影響により、対面での研究会は開催できず、制約のあるオンラインという環境下での研究活動であったが、本研究会は多様な分野で活躍する研究者、社会人、大学院生といった多世代・多業種の参加者が集うことで、情報交換や研鑽の場として機能したといえよう。</p> <p>今年度も、研究会の開催予定および概要などに関して、会員向けのメーリングリスト以外にも Face book を用いて広く情報提供を行った。</p> <p>来年度は、今年度延期となった研究発表会を初めとし、引き続き、研究集会・講演会等を開催したいと考えている。また、これまで培ってきた連携を大切にしつつ、新たな若い研究者の参加を得ることで、情報交換の場として一層活発な研究会となるようメンバー一同望んでいる。そして本研究会が、今後の学際的な心理学研究の発展へとさらなる貢献につながることを願っている。</p>		

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
第29回 生活行動心理学研究会				
研究集会-講演会-開催日： 2021年 9月 12日(日)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	阿部真美子	台東区立台東育英小学校		
2	井田政則	立正大学	○	
3	市村祐樹	(株) SHP	○	
4	岩崎智史	東京未来大学	○	
5	大井晴			
6	河内和直	群馬医療福祉大学		
7	神田尚	筑波大学人間系研究員	○	
8	國枝俊弘	TFC株式会社	○	
9	小橋真理子	聖学院大学	○	○
10	櫻井広幸	立正大学	○	
11	田中マユミ		○	
12	田辺資章	立正大学	○	
13	中山隼登	帝京大学	○	
14	堀内愛子			
15	法理樹里	京都大学	○	
16	松田美登子	東京富士大学	○	
17	山下富美代	立正大学	○	
18	山田 健太	(株) 電脳		
19	渡辺 夏紀	立正大学大学院	○	○

(様式5)

2022年 3月 31日

日本心理学会研究会

2021年度会計報告書

研究会名称 生活行動心理学研究会

研究会番号 21021

助成金額 ¥15,000

年月日	項目	金額
2021年9月12日	講師謝礼費（講演会講師への謝礼）	¥15,000

支出合計 ¥15,000